

平成30年度 第2回 タウンミーティング

○開催日時 平成31年1月23日(水) 午前10時50分～11時30分

○開催会場 古知野児童館

○開会あいさつ

おはようございます。本日は、緊張なならず普段通りの状況でお願いしたいと思えます。これまでにはテーマを掲げて地域の皆さんや若い世代の声を聞くために成人の集い実行委員の皆さん、大学生、高校生、中学生の皆さん、また、色々な団体や分野、世代の方々とお話をさせていただきましたが、なかなか子育て中のお母さん方とお話しする機会が無くて、今回は、子育て中のお母さん方の声を直接聞く場を設けたいと思い、古知野児童館へお邪魔させていただきました。気楽な気持ちでお付き合いをいただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

○参加者と市長の意見交換(要旨)

1 公園のトイレについて

例えば中央公園では、和式便器と男性用小便器が設置してありますが、家庭でも洋式便器のためトイレのことを考えると公園の利用をためらってしまいます。洋式便器にならないのでしょうか。

(回答)

トイレ(洋式便器)の問題は、公園に限らず学校でもあり、学校では順次洋式便器に取り換えているところです。

現在、市内で公衆トイレを設置しております公園は25箇所ありますが、その内、洋式の便器を設置している公衆トイレは多目的トイレを併設しているものも含め、10公園となっています。

すべての公衆トイレにおいて早期の洋式化は難しい状況ですが、まずは、中央公園や蘇南公園などの大規模公園につきまして、施設の利用状況や設備の劣化状況等を踏まえ、洋式化について検討してまいります。

2 公園の環境について

大間児童遊園の砂場で子どもに砂遊びをさせたいのですが、砂がなく遊べません。(飛散したのか周りと同じ高さ)また、なぜか、園内に結構大きな石ころもあつたりします。

(回答)

砂場の砂につきましては、日本公園施設業協会が定める「遊具の安全に関する規準」に従い、砂面と砂場枠の段差が22cm以下となるように管理させていただいておりますが、砂場外へ砂が流出してしまうことを防ぐため、砂場枠の上面を超える量の砂を入れることは行っておりません。

また、園内の石につきましては、公園を利用するうえで危険が伴うものについては除去させていただきます。

今後とも安心・安全にご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めてまいります。

3 市内の緑化について

以前、他市に住んでいましたがそこは緑が多かったです。緑が多いと心も豊かになります。緑などすごく綺麗で情景や季節感があるため皆さんが歩いています。歩くことで健康にも繋がります。一方、江南市は（道路に）緑が少ないですね。歩く人も少ないし。

（回答）

昨年の台風では、江南市でも沢山の樹木が倒れました。その被害が多かったため、逆に木を切って欲しいと言われる方もいらっしゃいます。さみしい話だと思います。やはり心豊かにする、日差しを防ぎ、日陰を作る、景観、二酸化炭素から酸素へなど、緑や木は良いと思います。

江南市の道路整備事業におきましては、県の基準どおり植樹帯を設置しておりますが、該当する道路も少ないことから、花いっぱい運動や花いっぱいコンクールを実施することで、駅周辺や各施設での緑化に努めております。緑豊かな自然が多い場所でお子さんを育てたいですね。

4 小学校の学区と通学について

尾崎地区は目と鼻の先に布袋北小学校がありますが、実際には、徒歩で30分かかる古知野南小学校に通学しています。身近な学校に通学できないものでしょうか。また、その途中には電車の踏切があります。なぜ危ない踏切を渡り、遠くの小学校に行かなくてはならないのでしょうか。

（回答）

江南市では区域ごとに就学すべき学校を指定しています。通学区域は、道路や河川等の地理的状況や地域社会がつくられてきた歴史的経緯、学校規模などを総合的に判断して設定をしています。ご理解くださいますようお願いいたします。

また、尾崎地区の児童につきましては江南駅の階段を使用し、線路の下を通行しているため、踏切を渡ることはしておりませんが、今一度学校から児童に通学路の周知徹底をしていきたいと思っております。

5 子育て支援センターについて

愛知江南短期大学内にあるセンターは、未就園児しか利用できません。そのため各務原市の施設を利用しています。

(回答)

現在、3箇所の子育て支援センターがありますが、年間約18,000組位の親子の利用があります。場合によっては手狭なところもありますので、別の場所に設置してほしいとか、支援センターを拡大してほしいという声もお聞きしております。

ご意見をいただきました、第3子育て支援センターは、第1・第2子育て支援センターと比較して約2倍の施設面積があるため、年齢の高い子どもが走り回るにより、年齢の低い子どもの遊びが阻害されたり、怪我を誘発することが危惧されます。そのため、現在は多くのお子さんに安全にご利用いただけるよう、未就園児のみのご利用とさせていただいております。

6-1 保育園の入園について

長久手市やあま市は、4月から9月までの上半期入園を先行する入園方式を採っていました。仕事に早く復帰したいので、江南市でもこの仕組みを採用してください。

(回答)

長久手市やあま市では、9月までに育児休業から復帰される保護者のために入園予約の制度を取っており、4月の時点で受入体制を整えております。

この制度は、育休復帰を目指す保護者には入所の確約が早期に得られる一方、受入枠を確保することで、年度途中の保育園への入所ができなくなる保護者も出てまいります。

江南市としましては、0歳児から3歳児までの申込みが非常に多く、現状では受入枠を確保できる状況にありませんが、今後園児の受入れに余裕が見込まれる場合には、採用を検討していきたいと考えています。

6-2 保育園の入園について

保育園にお子さんを預けているお母さんで、兄妹で別々の保育園に通園しているご家庭を知っています。大変そうです。

保育園自体は沢山ありますが、人口の密集度に見合った定員や規模が全然当てはまっていません。「市内のどこでもいいから入園できれば」という感じで皆さん諦めてとりあえず預けていると思いますが、そのことについては対応できないのかと思います。難しいのでしょうか。

(回答)

保育園への入所選考にあたっては、保育の必要性を点数化し、保育の必要性の高い方から優先的に入所する保育園が決定していきます。

既にきょうだい希望の園に入園している場合、もしくは同時に入園申込みをする場合は、点数化する際に加点をし、他の申込者より優位になるよう配慮しておりますが、保育の必要性や保育園の空き状況によっては、別々の園に登園していただかざるを得ない状況になることもあります。

また、最近では、布袋地域で保育園も小学校もいっぱいです。今までは古知野南小学校が一番マンモス校でしたけれども、最近では布袋小学校の児童数が一番多い状況に変わり、特に布袋地域からその様なご意見をよく聞いております。一時的な事もありますが、今後、全体的にお子さんの数も減っていくことが予想されます。

※年度途中で保育園に空きができましたら、再度調整を行い、転所することも可能です。(担当課：保育課)

6-3 保育園の入園について

「待機児童0」と伺い、1月に申し込みましたが入園できませんでした。

(回答)

平成 30 年度におきましても年度当初の待機児童はありませんでしたが、保育士人数の関係上園児の受入人数にも制限があり、3 歳未満児で年度途中から待機児童が発生してまいります。

また、空きができましても、数少ない受入枠に多数の保護者から入園申込みがありますので、なかなか入園できない、あるいは希望園に入園するのが難しいのが現状であり、入園希望者にはご迷惑をおかけしております。

江南市の保育園は評判が良く、また、指定管理者制度で運営されている布袋北保育園と古知野西保育園もかなり入所率が高くなってきているとお聞きしています。

江南市としましては受入体制を強化するために、引き続き保育士の確保に努めてまいります。

7 資源ゴミの分別指導当番について

年に1、2回まわってきます。2人の子どもを連れていかざるを得ませんが、子どももじっとしていないので、ゴミを見ているのか、子どもを見ているのか分からない状態です。何のために(当番で)集まったのか分からなくなります。

(回答)

このお話はよくお聞きします。様々な観点から見なくてはいけないのですが、一つは年に1、2回、場合によっては年に1回あるかないかという所もありますので、そのところをご容赦頂きたいです。それから地域コミュニティという観点から、災害があった時には地域全員が繋がればよいと思います。ただ、近年、生活様式の多様化に伴い、共働き世帯の増加で小さなお子様がいて、「何とかならないのか、町内会には加入しない」など、その様なお話もお聞きしますけれども、何とかご協力をお願いしたいです。

現在、江南市では、資源ごみの収集は市内の249箇所の集積場で月平均2回、平日の朝に地元の方々にご協力いただき、それぞれの地域のコミュニティを最大限に活かして、各地区と協働して実施しております。

立ち当番がどうしてもできない場合は、町内の方とお話やご相談をする事でごみ当番など代わっていただけるかもしれません。そうした声があることを地域の方へ伝えることでコミュニティに繋がると思いますので、一度、区の役員の方にご相談していただくようお願いいたします。

8 廃プラ、容器包装は、可燃ごみと同じように収集できないでしょうか。

(回答)

廃プラやプラスチック製容器包装類を可燃ごみと同様に収集することは、収集運搬体制や経費などの問題もあり、現状では変更することは難しい状況にあります。

今回、和田に設置しましたリサイクルステーションは、平日及び土曜日も午前10時から午後4時まで開設していますのでご利用ください。

今後につきましては、市民の皆さまからの要望や他市町の先進事例を参考にし、収集方法について検討してまいります。

9 新しいゴミ処理施設ができれば、廃プラの処理も可燃ごみと一緒にできるのではなでしょうか。

(回答)

現在、江南の資源ごみはほぼ30種類ぐらいありますがそれを分別するのが非常に手間だと言われます。元々は、焼却場のごみが多くなり「ごみを少なくしましょう」「燃やすことや埋めることは出来るだけやめましょう」と環境社会の事を考え始まったのが57運動です。皆様方のおかげで可燃ごみがどんどん減ってきていますので、今は少し余裕ができています。

今度の焼却炉の完成予定が平成37年です。平成37年(2025年)度より稼働予定の新ごみ処理施設は、廃プラも可燃ごみと同様処理することができますが、その収集方法につきましては、今後検討してまいります。

○閉会あいさつ

本日は、ありがとうございました。大変限られた時間で十分ではありませんでしたが、こうした機会をいただいたことに大変感謝申し上げます。

こういう場に限らず、なんなりとおっしゃっていただいて結構ですので、何かありましたら「市長への手紙」でお願いします。すべて目を通していきます。また、その場合、返事を出していきたいので、匿名ではなく、実名でお願いします。

本日は、ありがとうございました。

※意見交換の中での詳細な説明については加筆してあります。